

石狩市
健康大作戦

検査費用の一部を市が助成します

脳ドック・人間ドック検査

市では、国民健康保険加入者および後期高齢者医療制度加入者に対し、脳ドックまたは人間ドックの検査費用を助成します。

少ない自己負担額でドックを受診することができますので、積極的にご利用ください。

※同一年度内で助成を受けられるのは、脳ドックまたは人間ドックのどちらか一方です

○脳ドック・人間ドック・特定健康診査・後期高齢者健康診査は、検査内容に重複部分が多いため、同一年度内に重複受診はできません

○申請日現在、脳疾患で治療中または過去1年以内(H31/4月以降)に脳神経外科を保険受診している方は、脳ドック検査を受診できません

○妊娠中の方、ペースメーカーを装着している方は受診できません

○人工弁やステントなどの金属を体内に装着している方は実施医療機関により検査を受診できない場合があります

対象 次の要件を全て満たす方

国民健康保険加入者	後期高齢者医療制度加入者
・4/1現在、41歳～74歳で、石狩市国民健康保険に加入していること ・前年度の国保税を完納していること ・前年度に同ドックの助成を受けていないこと ・国保税の収納状況の照会に同意すること ・受診した実施医療機関から、国民健康保険課に受診結果が通知され、結果を生活習慣病予防のための特定保健指導に活用することに同意すること	・4/1現在、市民で後期高齢者医療制度に加入していること ・前年度の後期高齢者医療保険料を完納していること ・前年度に同ドックの助成を受けていないこと ・後期高齢者医療保険料の収納状況の照会に同意すること

内容 受診期間は受診券到着日からR3/3/31(水)まで

検査	実施医療機関	検査内容
脳ドック	いしかり脳神経外科クリニック(花川北6・1)	問診／身体計測／血圧測定／血液検査(血中脂質、肝機能、血糖、貧血)／尿検査／心電図検査／MRI(脳を見るための検査)／MRA(脳血管を見るための検査)
	石狩幸愜会病院(花川北7・2)	
	札幌東徳洲会病院(札幌市東区北33東14)	
	札幌北脳神経外科(札幌市北区新琴似6・17)	
	北海道脳神経外科記念病院(札幌市西区八軒9東5)	
人間ドック	石狩病院(花川北3・3)	問診／身体計測／血圧測定／血液検査(血中脂質、肝機能、血糖、貧血、腎機能)／尿検査／心電図検査／胃バリウム検査／大腸検査(便潜血検査)／胸部エックス線写真／腹部超音波検査(エコー検査)
	北海道対がん協会(札幌市東区北26東14)	

定員 申請多数時抽選。申込順ではありません

検査	国民健康保険	後期高齢者医療
脳ドック	700人	60人
人間ドック	200人	30人

自己負担額

検査	国民健康保険	後期高齢者医療
脳ドック	5,000円	3,000円
人間ドック	5,000円	3,000円

申請方法

受付期間 13(月)～24(金)

※郵送の場合は23(木)必着

申請書 10(金) 発送

国保加入者には「国保だより」に同封し郵送します。後期高齢者医療制度加入者で郵送希望の方は☎72・3125までご連絡ください。

※4/1以降、国民健康保険課・保健推進課・各支所市民福祉課、花川北・花川南・八幡コミセン、市HPからも入手可

窓口申請

国民健康保険課(市役所1階)または各支所市民福祉課で申請。印鑑と保険証が必要です。

郵送申請

申請書に記入、押印し郵送。

宛先 〒061-3292 花川北6・1・30・2 国民健康保険課

結果通知

5月下旬に申請者全員に結果通知を発送し、助成対象者には受診券を同封します。

スマートフォンやパソコンで便利なサービス

バスロケーションシステム



北海道中央バス(株)は、3/23から石狩市や札幌市内北方面の路線で、バスの運行状況をスマートフォンやパソコンで確認できる「中央バスナビ」のサービスを開始しました。これにより、バスの現在位置・接近・遅延などの情報を確認することができます。使い方や詳細は、中央バス(株)石狩営業所 ☎74・2325へ。

※札幌市内南方面や空港路線バス、都市間高速バスの一部路線は、H31/3/27から運用済み

主な機能

- ▶「中央バスナビ」トップの「バス接近情報」からバス停を入力し、系統を選択すると、バスの運行状況が表示され、到着予定などが分かります
- ▶地図上で確認ができます
- ▶多言語(英語・中国語・韓国語)対応
- ▶無料サイトです



バスの現在位置を確認して家を出られるのて便利だゴヨ!

中央バスナビ▶



☎ 企画課交通担当 ☎72・3193

石狩市WebGIS



市ではGIS(地理情報システム)をインターネット上で公開し、どなたでも利用できるサービスを提供しています。

メニュー内には「防災ポータルサイト」があり、使用端末機器のGPS機能により、現在地から災害種別ごとに最寄り5カ所の避難所までの方向と直線距離が表示され、周囲の標高も確認することができます。

GISとは?

地図上にさまざまな情報を掲載し、パソコンやスマートフォン、タブレットなどで、確認や検索ができる便利な地図情報です。

使用例

- ▶公共施設・医療機関などの位置確認
- ▶災害時における避難所・避難方向の確認
- ▶バス停の時刻表確認(厚田・浜益スクールバス含む)
- ▶都市計画区域、AED設置施設の確認



URL <https://gis.city.ishikari.hokkaido.jp/>

☎ 建設総務課 ☎72・3081

☎ 企画課交通担当 ☎72・3193

地域ごとの公共交通の課題と取り組み

第7回 浜益区編



公共交通の現状と課題

高齢化や自家用車への依存度の高さから、公共交通を利用する意識を高めることが重要で、サービスの向上も併せて、持続可能な運行を考えていく必要があります。また、より分かりやすい情報提供についても検討が求められます。

浜益区特有の現状と課題

買い物や通院などで市街地や札幌市へ移動することが多いため、移動手段の確保が必要です。

区内で運行するデマンド交通は、利用者の満足度が高い一方で、未利用者は予約への抵抗感が強いいため、利用の促進を図るよう、さらなる工夫が求められます。

また、観光客の大半が自家用車で

来訪しますが、公共交通の利便性が向上すれば利用したいというニーズもあるため、地域住民以外のデマンド交通利用に向けた運行や情報提供のあり方について検討が必要です。

今後の取り組み

皆さんが安心して利用できる公共交通を確保するため、現行サービスの維持に努めるとともに、利用者ニーズに応じたデマンド交通の運行を検討します。

さらに、デマンド交通の利用促進のため、待合環境を改善し、路線バスとの接続についても、より分かりやすい情報提供に取り組みます。